

実施日：令和8年6月4日（木） コマ：3

事業名：新技術の調査・研究に関する経費

【とりまとめコメント】

・現場のニーズや環境変化・技術革新に応じた技術開発テーマに取り組まれている。また、短期アウトカムについても、それぞれの技術開発の領域の目的に応じた指標化が進められており、いずれも優れたもので、他の技術開発においても参考にされるべきものである。今後は、これらの指標が厳しい現場の期待に応えられているのかどうか検証を重ねながら、さらなる改善を進められたい。

・現場からの要望・課題から新技術の調査・研究対象として事業化できるものはしていくという考え方、また、施策ごとにアウトカム指標を設定する点、について評価できる。採択事業数の増加、それに伴う予算の増加も検討すべきではないか。国、国民にとって重要性の高い事業と考えるので、がんばっていただきたい。

・海上保安庁の仕事は、重要性が高く、危険性も高い。私たちの生活が守られていることへの感謝の念は強い。その業務を改善するための投資は当然に必要である。現場の声を活かして事業改善を進める仕組みがあることは素晴らしいと思った。（もっと充実させてもよいかもしいない）

・ニーズの拾い方について、現場からの吸い上げに加え、海上保安庁全体の業務を俯瞰の上、必要な部分に資する技術開発、調査研究を行うことも重要なので、バランスよく事業を実施して欲しい。また、定量的アウトカムについて真摯に検討いただき評価できる。予算についても過不足なく行われているということなので、引き続き、必要・重要性に応じ、効率的な事業遂行をお願いしたい。

・リスクや効率性に関するアウトカム指標の with/without 分析による数値化例は、非常に素晴らしい取り組みのため、今後の行政事業レビューや予算配分の場面でも積極的に活用されたい。

・EBPM の観点から指標を開発していただき相当の進展があった。指標を利用しながら進化や取替を継続的にご検討いただきたい。

【外部有識者のその他コメント】

- ・本事業のような優れた取り組みの共有が肝要である。こうした技術開発については、省全体として質の高い研究開発マネジメントが進められるよう、省内の情報連携を進められたい。
- ・採択された4事業以外の候補事業についての考え方を知りたいと思ったが、説明いただき理解できた。
- ・with/without 分析による分析・数値化例は非常に素晴らしい取り組みのため、全省的に類似又は適用可能事例において、今後の行政事業レビューや予算配分の場面でも積極的に活用されたい。
- ・事後評価による研究テーマの選定、採択及び研究成果の評価においても一貫して上の指標が使えるようになることが望ましい。その他の局面での評価指標等への組み入れもご検討いただきたい。現場の業務効率化等、アウトカムに対する投資対効果の論理的な説明に引き続き取り組んでいただくとともに、継続的なPDCAサイクルの徹底も目指していただきたい。

(以 上)